



## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）は、加盟国間での人・物・資本・サービスの移動を自由化し、一つの大きな市場を作る「経済統合」を進めています。その一環として、国をまたぐ際の取引を円滑にするために共通通貨が導入されました。イギリスのポンドのように、EU加盟国であっても独自の通貨を使い続けている国もあります。
問2	答え 1 混合農業	ヨーロッパでは地域ごとの気候や土壌に適した農業が行われています。アルプス山脈より北側の平原部を中心に行われているこの形式は、主食となる穀物の生産と、食肉用の家畜の飼育を効率的に組み合わせることで、食料生産の安定を図ったものです。
問3	答え 1 東ヨーロッパと西・北ヨーロッパの諸国間に存在する経済格差	2004年以降のEU拡大により、旧共産圏であった東ヨーロッパ諸国が加わりました。これらの国々は、フランスやオランダといった西ヨーロッパや北ヨーロッパの先行加盟国と比較して経済発展が遅れており、国民一人あたりのGDPも低い水準にあります。このように、同じEU域内でありながら国によって経済水準に大きな開きがある「経済格差（経済的格差）」の是正は、EU全体の共通課題となっています。
問4	答え 1 オリーブ	地中海沿岸では、夏にほとんど雨が降らない地中海性気候が広がっています。このため、乾燥に強いオリーブやブドウなどの栽培が盛んです。オリーブは葉が小さく硬いため、水分が蒸発するのを防ぐことができ、この地域の厳しい夏の環境に適しています。一方、カカオや油やしは一年中雨が多くて暑い熱帯の気候で栽培される作物です。
問5	答え 1 アルプス山脈やアペニン山脈などの険しい山地が国土の多くを占め、大規模な耕作が可能な平地が限られているため。	スイスやイタリアは、アルプス山脈やアペニン山脈などの造山帯に含まれる険しい地形を有しています。このような山がちな地形は、広大な平野を利用した大規模農業を行う上での制約となります。地形は、その国の農業形態や食料自給率の背景を理解する上で重要な要素となります。
問6	答え 1 原油などの地下資源	イギリスは北海油田を保有しているため、先進国の中でも原油などのエネルギー資源を輸出している点が大きな特徴です。日本のようにもっぱら工業製品を輸出し、資源の大部分を輸入に頼る貿易構造とは異なる側面を持っています。
問7	答え 1 乾燥に強いオリーブやブドウ、耐暑性のあるオレンジなどの果樹栽培を中心に行う。	地中海性気候の最大の特徴は、夏に亜熱帯高圧帯の影響で降水量が極端に少なくなることです。この厳しい乾燥に耐えられるよう、葉が小さく硬いオリーブや、根を深く張るブドウなどの樹木作物の栽培が発展しました。選択肢にある「一年を通じて雨がが多い」特徴は西岸海洋性気候のものであり、「促成栽培」は気候を利用して出荷時期を調整する日本の事例などでよく見られる用語です。
問8	答え 1 国境をこえて、人、物、資本、サービスを自由に移動させることができる仕組み	ヨーロッパ連合（EU）の大きな特徴は、加盟国があたかも一つの国であるかのように活動できる「共通市場」を形成していることです。この仕組みにより、加盟国の国民は他の加盟国で自由に就職したり、生活したりすることが可能になっています。また、物資の移動に際しても関税がかからず、スムーズな経済活動が行えるよう工夫されています。
問9	答え 1 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。	ヨーロッパの気候において重要なのは「暖流」と「風」の相互作用です。北大西洋海流という暖流が海水の熱を北へ運び、その熱を偏西風が拾って大陸へと送り込むという因果関係を理解することが重要です。他の選択肢にある「寒流」や「季節風」、「黒潮」などは、ヨーロッパの気候を説明する要因としては誤りです。
問10	答え 1 アルプス山脈	イタリアの北側に位置するこの山脈は、アフリカプレートとユーラシアプレートの衝突によって形成された新期造山帯の代表的な山脈です。ピレネー山脈はフランスとスペインの国境、スカンディナヴィア山脈は北欧、アンデス山脈は南アメリカ大陸に位置するため、位置関係と特徴から判断します。
問11	答え 1 高緯度を流れる暖流の北大西洋海流の上空を、偏西風が吹くことで温かい空気が運ばれるため。	ヨーロッパの北西部は、高緯度であっても北大西洋海流という暖流の影響を強く受けます。この暖流の上空で温められた湿った空気が、一年中吹いている偏西風によって陸地側へと運ばれるため、同緯度の他地域や、より低緯度に位置するニューヨークなどと比較しても冬季の気温が下がりにくくなっています。
問12	答え 1 暖流によって暖められた空気が偏西風で運ばれるため、高緯度でも北西部の港が冬に凍らず、航路が確保される。	北大西洋海流という暖流と、その熱を陸地へ運ぶ偏西風の働きにより、ヨーロッパ北西部は緯度のわりには冬の気温が下がりにくいという恩恵を受けています。これにより、北緯50度を超えるような高緯度にあるイギリスやノルウェーの港でも、冬に海面が凍結しない「不凍港」として機能し、海上交通や貿易が維持されています。季節風の影響による稲作や、寒流の影響による冷涼な気候という説明は、ヨーロッパ州のこの地域の特性とは一致しません。
問13	答え 1 地中海性気候	イタリアの大部分は温帯の中でも、夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」に属しています。この気候下では、冬の水分を利用して小麦を育てる形態が伝統的に行われてきました。九州地方での小麦栽培（裏作）と収穫時期が重なるのは、日本の場合、梅雨の長雨による品質低下や穂発芽（収穫前に芽が出てしまうこと）を防ぐため、梅雨入り前の乾燥した時期に収穫を終える必要があるという事情があります。どちらも「収穫期の乾燥」を重視している点が共通しています。